

S.G. Report

No. 6

『崇城大学連携特別英語講座』

日 時： 平成27年7月31日（金）8：45～14：35
参加者： 1・2年 SG コース生徒（112名）および職員（森田、鶴濱、岩木）
訪問先： 崇城大学（SILC）
目 的： 崇城大学の施設・設備を用いて、自らの英語学習法について再検討し、様々な学習教材や方法に関する情報を得、実際に英語講師とのディスカッションを体験することによって、SG コース生徒の英語運用能力を高める一助とする。



【研修内容（午後は二面に続く）】



13.00 ～ 13.45	Independent learning 【英語学習法】	SALC Activities 【コミュニケーション活動】	Web-based applications for learning English 【ＩＣＴを用いた英語学習】	Reading Discussion 【英文を用いた学習】	Culture Discussion C 【人種・国籍・文化】	Culture Discussion B 【講師とのディスカッション】
13.50 ～ 14.35	SALC Activities 【コミュニケーション活動】	Independent learning 【英語学習法】	Reading Discussion 【英文を用いた学習】	Web-based applications for learning English 【ＩＣＴを用いた英語学習】	Culture Discussion B 【講師とのディスカッション】	Culture Discussion C 【人種・国籍・文化】



【生徒感想】

英語を使った活動をすることで学校生活では経験できないような貴重な体験をすることができたよかったです。また、今まで常識だと思っていたことが違ったりしたことにも驚きました。実際にコミュニケーションを取るときに使う英語が片言であっても、とにかく単語をどんどん言っていけば通じることも分かり、学校のテストも大事だけれども、そこだけにとらわれていてはいけないと思ったので、これからは両立していくように頑張りたいです。(2年男子)

今日の講座で、英語を使って意見を交わすことの難しさや楽しさを再認識することができた。また、なぜ英語を学ばなければならないのか、どのように役立つかということを考え直すことで、より英語を学ぶことへの意欲が高まるということを知った。Culture Discussion B の中で、「日本人を日本人たらしめるものは何か」という問い合わせがあったが、深く考えれば考えるほど謎になっていく面白い質問であった。英語を学ぶとともに、日本人として日本の文化や伝統も学ばなければならないと思った。(2年女子)

英語を学ぶ目的は何かと今日の講座の中で問われ、自分の中で考え直してみたところ、少しではあるが、未来の自分がどうありたいかという目標ができ、英語をもっと熱心に勉強しようと思った。いろいろと英語の学習について外国人の方々からアドバイスも受けられたので、これからの学習に取り入れていき、学んだことを生かしていくこう思った。(1年男子)

英語しか話してはいけないという状況が新鮮でとても楽しかったです。日本語で話しているときよりもテンションが上がり、自分の思いをさらけだせるような気がしました。先生方はとても気さくで、自由な雰囲気の授業がとても良かったです。私は英語に自信がなかったのですが、話してみると楽しく、英語を話すのが好きになりました。(1年女子)